

スタープレミアム年金

STAR PREMIUM ANNUITY

[変額個人年金保険]

特別勘定運用レポート 2022年4月発行 (2022年3月末基準)

～ ご案内 ～

<特別勘定運用レポートについて>

- 当レポートは、特別勘定の運用概況や運用実績をお知らせするためのものです。
- 当レポートは、生命保険契約の募集および主たる投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 各データの基準日から特別勘定運用レポートのご提供まで、各種データの収集、加工等のためにお時間をいただいておりますことをご了承ください。

<クレディ・アグリコル生命からの情報提供>

- クレディ・アグリコル生命 Webサイト
 - ・最新のユニットプライスは当社Webサイトでご確認いただけます。
 - ・積立金額やご契約内容等は、当社インターネット・サービス マイページにてご確認いただけます。
<https://www.ca-life.jp/>
- クレディ・アグリコル生命 カスタマーサービスセンター
 - ・各種変更手続きやご契約内容に関するお問合せ等は下記までご連絡ください。



カスタマー
サービスセンター



0120-60-1221

受付時間：
月～金曜日 9:00～17:00
(祝休日・年末年始の休日を除く)

- ・消費税率の引上げにより、令和元年10月1日以降は信託報酬にかかる消費税率が10%になっております。
- ・当レポート中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・商品の詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要／注意喚起情報>」「商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名		特別勘定が投資対象とする投資信託名	特別勘定の運用方針	委託(運用)会社	信託報酬率(税込)
バ ラ ン ス	グローバルマーケット (01)	世界バランス・ファンド <適格機関投資家専用>	日本を含む世界各国の株式および公社債へ分散投資を行う投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。市況動向等を勘案して為替ヘッジを行うことがあります。	アパディーン・ジャパン 株式会社	年率0.748%程度
	日本株式 (01)	大和住銀日本株式 ファンドVA (適格機関投資家限定)	国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。	三井住友DSアセット マネジメント株式会社	年率0.748%程度
	海外株式 (01)	ラッセル・インベストメント 外国株式ファンド I-4B (為替ヘッジなし) (適格機関投資家限定)	日本を除く主要国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	ラッセル・ インベストメント 株式会社	年率0.88%程度
株 式	新興国株式 (01)	DWS世界新興国株式 ファンドVA (適格機関投資家専用)	新興国各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	ドイチェ・アセット・ マネジメント株式会社	年率1.045%程度
	日本債券 (01)	大和住銀日本債券 ファンドVA (適格機関投資家限定)	国内の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。	三井住友DSアセット マネジメント株式会社	年率0.429%程度
	海外債券 (01)	iFree 外国債券 インデックス	日本を除く主要国の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	大和アセット マネジメント 株式会社	年率0.198%程度
	新興国債券 (01)	GIM FOFs用新興国 ソブリン・オープンF (適格機関投資家専用)	新興国各国の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	JPモルガン・アセット・ マネジメント株式会社	年率0.671%程度
債 券	海外 ハイイールド債券 (01)	CA米国・ユーロ高利回り債 ファンドVA (適格機関投資家専用)	米国および欧州のハイイールド債券(高利回り債券)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.209%程度 (実質: 最大年率 0.8915%程度)*1
	投資 信託	グローバルリート (01)	CAグローバル REITファンドVA (適格機関投資家専用)	日本を含む世界各国の不動産投資信託証券(REIT)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社
金 融 市 場	マネー プール (01)	CA マネープールファンド (適格機関投資家専用)	円建の短期公社債および短期金融商品を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって安定的な運用を行います。	アムンディ・ジャパン 株式会社	各月ごとに決定*2

*1 この投資信託はいわゆるファンド・オブ・ファンズであるため、運用にかかる実質的な信託報酬は、当該投資信託と、その投資対象である他の投資信託の信託報酬等の合計となります。投資対象となる投資信託の組入状況によって、実質的な信託報酬は変動します。

*2 信託報酬率は、各月毎に決定するものとし、前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.33を乗じて得た率(以下「当該率」といいます)とします。ただし、当該率が年0.055%以下の場合には、年0%超 0.055%(税込)以内で委託会社が任意に定める率とし、年0.385%超の場合には、年0.385%(税込)とします。
なお、当該指標が改廃等の場合は、委託会社が定める指標を用いることとします。

信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がその他費用としてかかりますが、各投資信託の運用状況等によって異なるため、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難であり表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映され、お客さまに間接的にご負担いただくこととなります。また、これら運用関係費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更されることがあります。

特別勘定による運用について

- この商品の特別勘定は主に投資信託に投資し、その運用実績をもとに年金額、解約払戻金額などが変動(増減)します。そのため、他の保険種類に関わる資産とは独立した方針にもとづき運用します。
- 各特別勘定の投資対象となる投資信託については、運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、投資信託の種類、運用方針、運用会社を今後変更することがあります。
- この商品の特別勘定グループにおいて、今後新たな特別勘定を設定すること、すでに設定された特別勘定を廃止すること、および複数の特別勘定を統合することがあります。

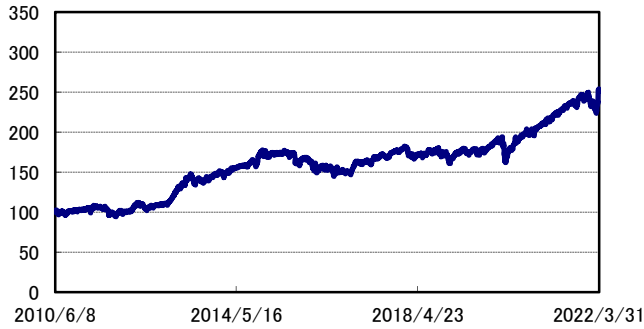
* 特別勘定についての詳細は「特別勘定のしおり」をご覧ください。

※最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク、お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

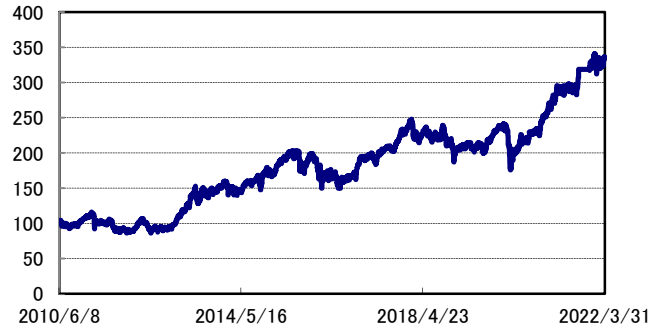
(2022年3月31日現在)

グローバルマーケット(O1)



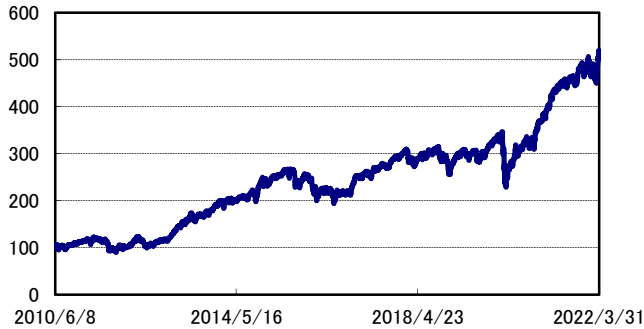
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	9.28%	投資信託	95.02%
253.89	3ヵ月	2.00%	現預金等	4.98%
	6ヵ月	8.60%		
	1年	15.81%		
	3年	44.62%		
	設定来	153.90%		

日本株式(O1)



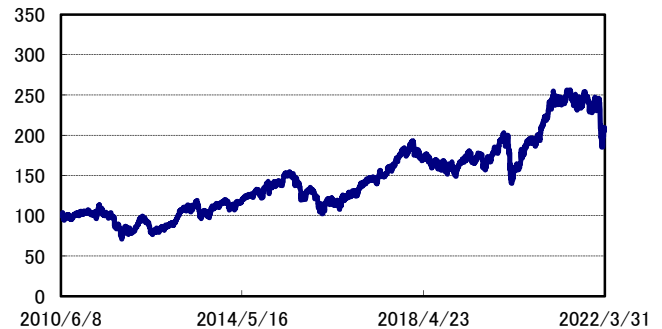
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	3.52%	投資信託	93.91%
333.60	3ヵ月	1.55%	現預金等	6.09%
	6ヵ月	4.78%		
	1年	15.35%		
	3年	59.42%		
	設定来	233.60%		

海外株式(O1)



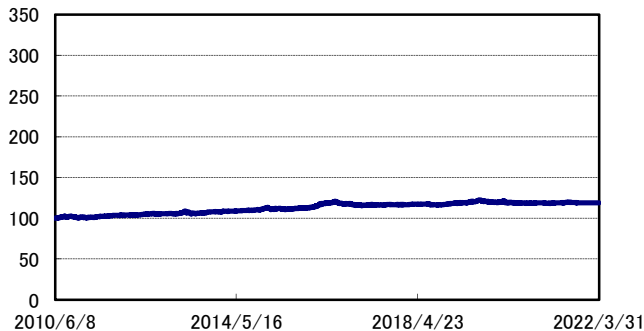
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	9.99%	投資信託	95.03%
516.97	3ヵ月	3.62%	現預金等	4.97%
	6ヵ月	13.41%		
	1年	20.30%		
	3年	74.26%		
	設定来	416.98%		

新興国株式(O1)



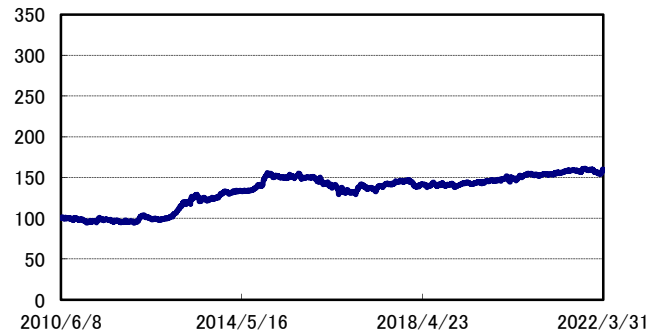
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	-1.23%	投資信託	94.74%
209.63	3ヵ月	-11.06%	現預金等	5.26%
	6ヵ月	-12.58%		
	1年	-14.37%		
	3年	23.22%		
	設定来	109.63%		

日本債券(O1)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.00%	投資信託	(*注)
119.00	3ヵ月	0.00%		
	6ヵ月	-0.07%		
	1年	0.37%		
	3年	-0.30%		
	設定来	19.01%		

海外債券(O1)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	3.13%	投資信託	94.49%
159.59	3ヵ月	-0.32%	現預金等	5.51%
	6ヵ月	1.18%		
	1年	2.14%		
	3年	11.06%		
	設定来	59.59%		

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

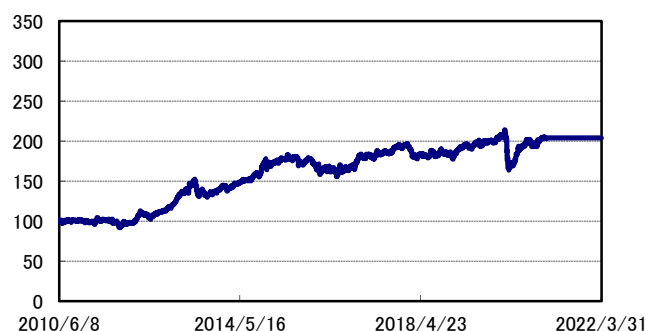
(*注) 当資料の基準月末時点において、「日本債券(O1)」の特別勘定資産は0となっています。ユニットプライスについても、2021年10月28日以降変動していません。

・「スタープレミアム年金」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

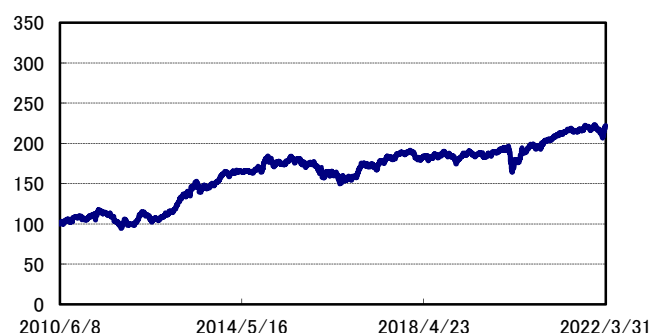
(2022年3月31日現在)

新興国債券(01)



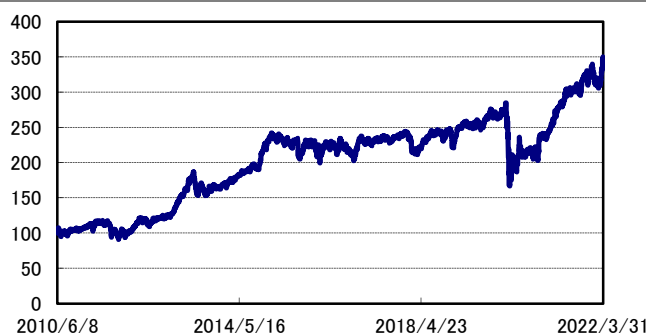
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.00%	投資信託	(*注)
203.84	3ヵ月	0.00%		-
	6ヵ月	0.00%		
	1年	0.00%		
	3年	5.54%	現預金等	-
	設定来	103.85%		

海外ハイールド債券(01)



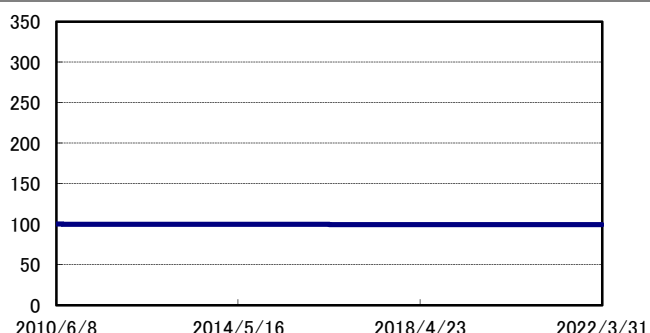
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	4.60%	投資信託	94.74%
222.38	3ヵ月	0.15%		
	6ヵ月	1.62%		
	1年	4.88%	現預金等	5.26%
	3年	19.37%		
	設定来	122.39%		

グローバルリート(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	10.65%	投資信託	95.52%
348.75	3ヵ月	3.77%		
	6ヵ月	15.96%		
	1年	27.29%	現預金等	4.48%
	3年	35.68%		
	設定来	248.76%		

マネープール(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	-0.07%	投資信託	51.13%
99.31	3ヵ月	-0.08%		
	6ヵ月	-0.09%		
	1年	-0.11%	現預金等	48.87%
	3年	-0.17%		
	設定来	-0.68%		

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

(*注) 当資料の基準月末時点において、「新興国債券(01)」の特別勘定資産は0となっています。ユニットプライスについても、2021年1月15日以降変動していません。

・「スタープレミアム年金」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバル・マーケット(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アバディーン・ジャパン株式会社

2022年3月31日 現在

◆ ファンドの特色

- ◇主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって中長期的な成長を目指します。
- ◇基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%としますが、市況見通しに応じて機動的な変更を行います。
- ◇市況動向等を勘案して為替ヘッジを行うことがあります。

◆ 主なリスク

価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	9.77%	2.07%	9.03%	16.69%	46.36%	188.35%

※設定来は2003年11月12日から計算しております。

◆ 基準価額推移グラフ



◆ ファンド概況

基準価額	28,835円
純資産総額	27百万円
設定日	2003年11月12日
決算日	原則 3月15日
信託期間	無期限

◆ 通貨別構成比

	ファンド	複合指数* (参考データ)	ベット
米ドル	44.13%	54.82%	-10.69%
ユーロ	27.32%	20.10%	7.22%
英ポンド	4.50%	4.44%	0.06%
豪ドル・NZドル	3.66%	1.85%	1.81%
日本円	11.67%	11.07%	0.60%
その他	8.72%	7.73%	1.00%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

◆ 資産別構成比

	ファンド	複合指数* (参考データ)	ベット
株式	41.50%	50.00%	-8.50%
北米地域	30.25%	35.52%	-5.27%
欧州(除く英国)	5.54%	7.29%	-1.76%
英国	1.48%	2.27%	-0.79%
日本	2.44%	2.96%	-0.51%
豪州・ニュージーランド	1.02%	1.15%	-0.14%
その他	0.78%	0.80%	-0.02%
債券	54.98%	50.00%	4.98%
北米地域	18.71%	21.38%	-2.66%
欧州(除く英国)	23.62%	16.46%	7.17%
英国	2.71%	2.28%	0.43%
日本	7.37%	8.12%	-0.75%
その他	2.57%	1.78%	0.79%
現預金	3.51%	0.00%	3.51%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

*複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、FTSE世界国債インデックスの50%を加重平均した指数です。

◆ 市況コメント

株式市場は、前月末に比べ上昇しました。連邦準備理事会(FRB)が利上げを実施したのに加え、金融引き締めを積極的に行う姿勢を示したことから、金融政策の不透明感が和らいだと、市場で好感されたと考えられます。S&P500指数は前月比+3.6%となりました。

債券市場は、長期金利は前月末に比べ、上昇しました。連邦準備理事会(FRB)が利上げを実施したのに加え、金融引き締めを積極的に行う姿勢を示したことから、金利上昇圧力が高まりました。月末の米国10年国債の利回りは前月比0.51%上昇し、2.34%となりました。

当月の米ドル・円相場は、前月末に比べ円安の、1ドル=121円70銭程度での引けとなりました。米国が利上げを開始した一方、日本は緩和姿勢を維持しており、日米金利差が拡大するとの見方から、円安に進んだと考えられます。

◆ 組入上位10銘柄

株 式				債 券			
銘柄	国名	比率		銘柄	クーポン	償還日	比率
APPLE INC	アメリカ	2.04%		アメリカ国債	0.375	2025/4/30	7.59%
MICROSOFT CORP	アメリカ	1.56%		フランス国債	0.000	2023/3/25	2.02%
AMAZON.COM INC	アメリカ	1.07%		日本国債	2.100	2025/6/20	1.98%
TESLA INC	アメリカ	0.65%		アメリカ国債	1.750	2041/8/15	1.88%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	0.59%		オーストラリア国債	2.750	2027/11/21	1.84%
ALPHABET INC-CL C	アメリカ	0.57%		アメリカ国債	1.250	2050/5/15	1.81%
NVIDIA CORP	アメリカ	0.50%		メキシコ国債	7.750	2031/5/29	1.63%
META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	0.38%		日本国債	2.100	2027/3/20	1.41%
UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	0.33%		フランス国債	0.500	2026/5/25	1.30%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.32%		ドイツ国債	0.000	2030/8/15	1.23%
合 計		8.02%		合 計			22.69%

※各比率は世界バランス・ファンドにおける実質的な投資配分です。

※ETF(上場投資信託証券)に投資しております。

・当資料は、アバディーン・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本株式(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

大和住銀日本株式ファンドVA(適格機関投資家限定)

【運用会社】 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

2022年3月31日 現在

◆ ファンドの特色

わが国の株式を主要投資対象とし、ファンダメンタル価値比割安性(バリュウ)を重視し、収益性・成長性を勘案したアクティブ運用により、信託財産の長期的な成長を目指します。
TOPIX(東証株価指数・配当込み)をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	6.13%	4.59%	4.64%	14.28%	54.26%	243.26%
ベンチマーク	4.30%	-1.17%	-2.85%	1.99%	31.18%	171.70%
差	1.83%	5.76%	7.49%	12.30%	23.08%	71.56%

◆ ファンド概況

基準価額	34,326円
純資産総額	2,510百万円
設定日	2003年9月2日
決算日	原則11月19日
信託期間	無期限

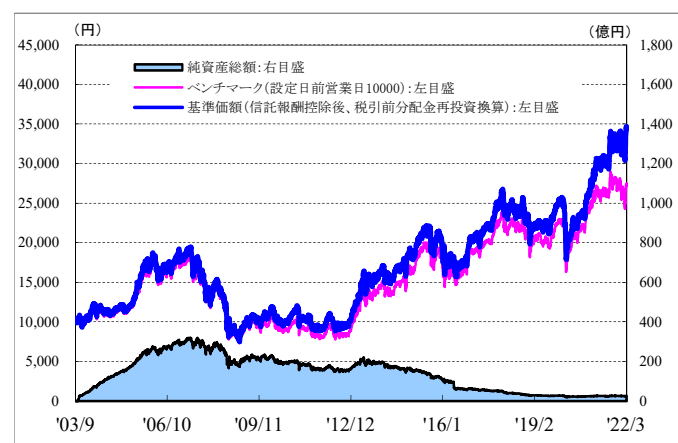
◆ 資産構成比

実質株式組入比率	97.51%
うち現物	97.51%
うち先物	0.00%
現預金等	2.49%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンドの設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

日本株式市場は上昇しました。月前半は、ウクライナ情勢の悪化とロシアへの経済制裁を背景に原油市況が高騰したほか、地政学リスクが高まったことによる世界景気の回復遅れが懸念され、日本株式市場は大幅な下落となりました。しかしその後、ウクライナとロシアの停戦協議に一喜一憂する中、懸念されていたFOMC(米連邦公開市場委員会)での決定内容が市場予想に近かったことから安心感が拡がり、日本株式市場は円安の進行とともに急ピッチで回復しました。

◆ 組入上位10銘柄[※]

	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	6.24%
2	日本電信電話	情報・通信業	5.58%
3	ソニーグループ	電気機器	4.39%
4	第一生命ホールディングス	保険業	4.21%
5	商船三井	海運業	3.99%
6	豊田自動織機	輸送用機器	3.86%
7	TDK	電気機器	3.38%
8	トヨタ自動車	輸送用機器	3.09%
9	日本ユニシス	情報・通信業	2.66%
10	丸紅	卸売業	2.51%
組入全銘柄数: 71 銘柄		上位10銘柄合計	39.92%

◆ 組入上位5業種[※]

業種	比率
電気機器	18.27%
情報・通信業	13.07%
輸送用機器	8.99%
銀行業	8.74%
卸売業	8.60%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、三井住友DSアセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(O1)

【特別勘定が投資する投資信託】

ラッセル・インベストメント外国株式ファンド I - 4B (為替ヘッジなし)
(適格機関投資家限定)

【運用会社】 ラッセル・インベストメント株式会社

2022年3月31日 現在

◆ ファンドの特色

「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

・MSCI KOKUSAI(配当込み)をベンチマークとします。
・複数の運用スタイル、複数の運用会社(外部委託先運用会社)を組み合わせ「マルチ・スタイル、マルチ・マネージャー運用」を行うことにより、長期的により安定した運用成果を目指します。

<『マルチ・スタイル、マルチ・マネージャー運用』の特徴>

- 世界中から優れていると判断される運用会社を厳選します。
- 複数の運用スタイル、運用会社に分散しリスクの低減を図ります。
- 運用会社を継続的にモニタリングし、必要に応じてファンドで採用する運用会社の変更や追加等を行います。

【採用している外部委託先運用会社は次頁をご参照下さい。】

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	8.56%	1.93%	12.16%	19.71%	71.49%	469.13%
ベンチマーク	8.57%	0.19%	12.45%	22.95%	72.08%	494.49%

◆ 基準価額推移グラフ



※上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。なお、ベンチマークは当ファンド設定日前日を10,000として指数化しています。

※基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	業種	比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.97%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.94%
3	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.83%
4	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.67%
5	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	1.57%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.42%
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.32%
8	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.31%
9	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.21%
10	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	1.15%
組入全銘柄数: 601銘柄				上位10銘柄合計 16.40%

※各比率はマザーファンドにおける株式等評価額合計に占める割合です。

◆ ファンド概況

基準価額	56,913円
純資産総額	4,115百万円
設定日	2003年11月18日
決算日	原則9月13日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	99.65%
うち現物	94.64%
うち先物	5.01%
現預金等	0.35%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

3月の海外株式相場は上昇しました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比8.57%上昇)。海外株式相場は、米国では、上旬はロシアのウクライナ侵攻の激化や、米欧等のロシアに対する経済制裁に伴う原油価格の高騰への懸念等から下落したものの、中旬以降は、ロシアとウクライナの停戦協議進展への期待や、米国の金融政策への不透明感が薄れたこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州も、ロシアとウクライナの停戦協議進展への期待等が下支えとなり、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。為替市場では、米ドル/円相場、ユーロ/円相場ともに円安となりました。

こうした中、ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B(為替ヘッジなし)の基準価額は前月末比8.56%上昇しました(ベンチマーク比較のため期間調整したマザーファンドの基準価額は前月末比6.94%の上昇)。3月は、1社がベンチマークを上回り、5社がベンチマークを下回りました。マーケット・オリエンテッド型のニューメリックは、国別配分、セクター配分、銘柄選択がともにプラスに寄与し、ベンチマークを上回りました。一方、バリュー型のサンダースは、国別配分、セクター配分、銘柄選択がともにマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。なお、マザーファンド全体では、セクター配分はプラスに寄与し、国別配分の超過収益への影響は軽微であったものの、銘柄選択がマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。

◆ 組入上位5カ国、5通貨および5業種

	国名	比率		通貨	比率
1	アメリカ	67.31%	1	米ドル	67.35%
2	スイス	5.10%	2	ユーロ	10.20%
3	イギリス	4.86%	3	スイスフラン	5.10%
4	ドイツ	3.70%	4	英ポンド	4.86%
5	カナダ	2.67%	5	カナダドル	2.67%

	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	11.16%
2	銀行	7.99%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.70%
4	資本財	6.65%
5	ヘルスケア機器・サービス	6.50%

・当資料は、ラッセル・インベストメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(O1)

【特別勘定が投資する投資信託】

ラッセル・インベストメント外国株式ファンド I - 4B (為替ヘッジなし)
(適格機関投資家限定)

【運用会社】 ラッセル・インベストメント株式会社

2022年3月31日 現在

外部委託先運用会社一覧(ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド)

「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」は、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。マザーファンドでは、グロース型、バリュート型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、各運用会社の特性を最大に活かせるよう、運用を行っています。

運用会社	運用会社の特徴	運用スタイル	目標配分割合
フィエラ・キャピタル(米国)[投資助言] ストーン・イン・アセット・マネジメント(カナダ)[副投資助言]	フィエラは、投下資本利益率(ROIC)や自己資本利益率(ROE)、経済的付加価値(EVA)を重視して、高クオリティで合理的なバリュエーションを備えた成長性の高い銘柄をボトムアップ・アプローチで選別します。また、ファンダメンタルズ分析では、企業の持つ競争力や参入障壁、経営陣の質などを重視します。なお、ストーン・インは投資助言会社であるフィエラに対して投資助言を行います(以下「副投資助言会社」ということがあります。)。フィエラの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスが運用の指図を行います。	グロース型	14.5%
モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント(米国)[投資助言]	モルガン・スタンレーは、投下資本利益率(ROIC)やフリーキャッシュフローに着目し、長期的な視点から、独自の競争力を持ち、成長性が期待できる銘柄を選別します。ベンチマークはあまり意識せず、新興国株式を含め、比較的銘柄数を絞ったポートフォリオを構築します。なお、モルガン・スタンレーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスが運用の指図を行います。	グロース型	14.5%
サンダース・キャピタル(米国)[投資助言]	サンダースは、グローバルな視点から投資テーマを的確に踏まえて個別銘柄を分析し、当該企業を持つ本質的企業価値に対して大きく割安であると判断する銘柄を選別します。なお、サンダースの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスが運用の指図を行います。	バリュート型	17.0%
ブジーナ・インベストメント・マネジメント(米国)[投資助言]	ブジーナは、各セクターに精通した社内アナリストが質の高いボトムアップ・リサーチを行い、収益力・バリュエーションの低下が一時的な要因が構造的な要因を見極め、一時的な要因が解消した後に収益力・バリュエーションの回復が期待される銘柄に投資することで高い超過収益の獲得を目指します。なお、ブジーナの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスが運用の指図を行います。	バリュート型	17.0%
ニューメリック・インベスターズ(米国)[投資助言]	ニューメリックは、運用モデルの開発に優れたりリサーチ陣容や経験豊富で優秀なポートフォリオ・マネージャーを備えており、バリュエーション、業績予想修正、株価モメンタム等の有効なファクターをバランス良く的確に捉える運用モデルを活用して、超過収益の獲得を目指します。	マーケット・オリエンテッド型	16.0%
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービス(米国)	ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービスは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター(バリュートやクオリティ、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など)の運用を行います。	ポートフォリオ特性補強型	21.0%

- (注1)「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」では、マザーファンド全体の運用効率を高めること、各運用会社の入替え等に際しての資産の移転管理および一時的な運用、他の運用会社からの投資助言等に基づく運用、委託会社が必要と判断した場合におけるマザーファンドの一部についての運用等を行うため、「ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービス(米国)」を採用しています。
- (注2)「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」で採用している運用会社(外部委託先運用会社/投資助言会社)は当レポートの作成基準日現在におけるものです。運用会社は事前の通知なしに随時変更され、当レポートの作成基準日現在のもものと異なることがあります。
- (注3)「運用会社」について、運用の指図にかかる権限を委託する運用会社を「外部委託先運用会社」、外部委託先運用会社が投資助言を受ける会社を「投資助言会社」ということがあります。
- (注4)「目標配分割合」とは、運用会社を組み合わせる際に目安とする配分割合をいいます。

<運用スタイルについて>

○グロース型

特に企業の成長性に着目し、利益等の成長性が市場平均よりも高いと考える株式(グロース株)を主な投資対象とする運用スタイルをいいます。一般的には、一株当たり利益(EPS)の伸び率や自己資本利益率(ROE)の高い銘柄が対象となります。

○バリュート型

特に株価水準に着目し、企業の資産価値などから判断して株価が過小評価されていると考える株式(バリュート株)を主な投資対象とする運用スタイルをいいます。一般的には、株価収益率(PER)や株価純資産倍率(PBR)などが低い銘柄が対象となります。

○マーケット・オリエンテッド型

「グロース型」や「バリュート型」のように、特定の傾向をもつ株式のみに焦点を当てるのではなく、幅広い株式を投資対象とします。

○ポートフォリオ特性補強型

採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクターの運用を行うことをいいます。

- ・当資料は、ラッセル・インベストメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国株式(O1)

【特別勘定が投資する投資信託】

DWS世界新興国株式ファンドVA(適格機関投資家専用)

<愛称: BRICsプラスVA>

【運用会社】 ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 DWSインベストメントGmbH

2022年3月31日現在

◆ ファンドの特色

・主として、ブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等を主要投資対象としたDWS世界新興国株式マザーファンドへの投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
・毎決算時(原則として7月18日)。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日に、信託約款に定める収益分配方針に基づき分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合もあります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.31%	-11.62%	-13.20%	-15.00%	24.30%	32.08%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄*

	銘柄	国名	業種	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	半導体・半導体製造装置	9.31%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.22%
3	ICICI BANK LTD	インド	銀行	6.25%
4	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	メディア・娯楽	5.58%
5	PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR	ブラジル	エネルギー	5.25%
6	HDFC BANK LTD-ADR	インド	銀行	3.95%
7	WEG SA	ブラジル	資本財	3.39%
8	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	中国	小売	3.32%
9	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	インド	エネルギー	3.29%
10	VALE SA	ブラジル	素材	3.20%
組入全銘柄数: 41 銘柄		上位10銘柄合計		52.76%

◆ ファンド概況

基準価額	13,208円
純資産総額	2百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則として8月18日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

株式組入比率	94.89%
うち現物	94.89%
うち先物	—
現預金等	5.11%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

3月の新興国市場は国毎にまちまちな展開となりました。ブラジルのボエバ指数は前月比+6.06%となりました(※2月25日と3月31日の比較)。鉄鉱石価格の大幅な上昇を受けて大手資源株が買われたほか、投資家心理の改善を追い風に銀行株などが上昇相場を牽引しました。ロシアのRTS指数は前月比+9.00%となりました(※2月25日と3月31日の比較)。モスクワ証券取引所は、2月28日から3月23日まで休場となり、株式の取引が行われませんでした。24日の取引再開後は、外国人投資家による株式の売却禁止など株値の急落を阻止する措置がとられるなか、ロシアとウクライナによる停戦交渉の進展に対する期待などが買い戻しの動きが広がり、月末にかけて急反発しました。なお、モスクワ証券取引所で取引が再開された後も外国人投資家による株式の売却は禁止されており、また、欧米市場に上場しているロシア企業の株式や預託証券の大半は、月末まで取引停止の状態が続きました。インドのS&P・BSE SENSEX指数は前月比+4.13%となりました。5月の議会選挙のうち4州で与党が勝利したことや、原油価格の上昇が一服したこと、ロシアとウクライナによる停戦交渉の進展期待などが株値を押し上げる要因となりました。中国のハンセン中国企業株(H株)指数は前月比-6.21%となりました。中国本土で新型コロナウイルスの感染が拡大し、一部地域がロックダウン入りしたことや、米中対立の激化などが懸念されました。ロシアとウクライナの戦争継続が主要コモディティの供給懸念を高め、様々な産業のサプライチェーンに混乱が生じるリスクがあります。また、各国中央銀行の金融引き締めにより世界的に流動性の縮小が続く可能性もあり、これらの要因が消費者の購買意欲を制限する懸念があります。世界の他の中央銀行が金融引き締めを転じているのに対し、中国は成長を刺激するために逆の方向にシフトしています。秋に開催される共産党大会に向けて景気を改善させる必要もあることから、中国当局は22年を通して緩やかな姿勢を維持するとみられます。短期的には、厳格なコロナ対策により景気が減速するリスクもありますが、中国政府はこのような市場の懸念を認識しており、経済成長を支えるために政策を調整する可能性があります。金融政策の転換による後押しも期待されることから、マーケットは再び活気を取り戻すと思われます。多くの銘柄のバリュエーションは非常に魅力的な水準にありますが、長期的にはより質の高い企業にパフォーマンス面での優位性があると考えられ、そのような銘柄の株値は戻りを試みていくとみています。ロシア株については、株式の取引は現地でも再開されましたが、外国人投資家によるアクセスは引き続き制限され、欧米市場に上場している大半の銘柄の取引も停止されています。情勢を注視しながら取引が再開された時点で改めてさまざまな観点から状況を再評価する必要があると考えています。<参考>ロシアの株式ならびに預託証券等(以下「ロシア株式等」)の評価について2月28日(現地時間)以降、ロシアの証券取引所が株式取引を停止し、また米国や英国等の海外市場もロシア株式等の取引を相次いで停止したことを受け、市場の流動性が大幅に低下している中、実勢を反映した時価の取得が困難な状況となっており、そのため、多くのロシア株式等について、ファンドの基準価額算出に使用する時価には対円で為替変動のみが反映され、ロシア株式等の市場実勢が反映されていない状態が続いておりました。その後もロシア株式等の取引が事実上困難な状態が継続し、妥当性のある時価の取得が出来ないう状況が続いていることを受け、2022年3月22日時点の基準価額から、当ファンドで保有するロシア株式等の評価を「実質ゼロ評価」といたしました。なお、基準日時点においても前述の判断に変更はなく、当ファンドで保有するロシア株式等については「実質ゼロ評価」といたしました。※現時点においても継続して取引が行われており、妥当性のある時価の取得が可能と判断される一部のロシア株式等については、従来通り、基準価額算出日の前営業日の終値で評価しております。

コメントは、DWSインベストメントGmbHの資料をもとに作成しています。

◆ 組入上位5カ国および5業種*

国名	比率
インド	22.10%
ブラジル	19.81%
中国(含香港)	18.82%
韓国	16.45%
台湾	10.43%

業種	比率
銀行	19.43%
半導体・半導体製造装置	11.02%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	10.34%
素材	9.40%
エネルギー	9.20%

* 各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

大和住銀日本債券ファンドVA(適格機関投資家限定)

【運用会社】 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

2022年3月31日 現在

◆ ファンドの特色

わが国の公社債を主要投資対象とし、金利予測およびクレジット判断等に基づくアクティブ運用により、信託財産の長期的な成長をめざします。

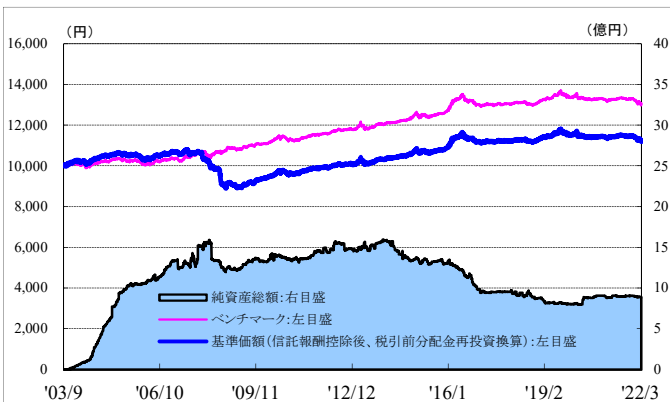
NOMURA-BPI総合指数をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざします。

※NOMURA-BPI(総合)は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる委託会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.31%	-1.54%	-1.61%	-1.16%	-1.90%	12.73%
ベンチマーク	-0.29%	-1.50%	-1.57%	-1.22%	-2.08%	30.75%
差	-0.02%	-0.04%	-0.04%	0.06%	0.19%	-18.02%

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄[※]

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	434 2年国債	2024/3/1	0.01%	9.10%
2	365 10年国債	2031/12/20	0.10%	7.88%
3	149 20年国債	2034/6/20	1.50%	4.61%
4	47 30年国債	2045/6/20	1.60%	2.32%
5	179 20年国債	2041/12/20	0.50%	2.27%
6	115 20年国債	2029/12/20	2.20%	2.24%
7	350 10年国債	2028/3/20	0.10%	1.89%
8	364 10年国債	2031/9/20	0.10%	1.83%
9	170 20年国債	2039/9/20	0.30%	1.79%
10	70 30年国債	2051/3/20	0.70%	1.63%
組入全銘柄数: 102 銘柄		上位10銘柄合計		35.56%

◆ ファンド概況

基準価額	11,273円
純資産総額	889百万円
設定日	2003年10月1日
決算日	原則 11月19日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	99.55%
うち現物	91.39%
うち先物	8.17%
現預金等	0.45%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 市況コメント

月初から下旬にかけて、FRB・ECBなど主要中央銀行がタカ派的姿勢を一層強めたことからグローバル金利は上昇基調で推移し、円金利も連れ高となりました。下旬は日銀が連続指し値オペを実施するなど急激な金利上昇抑制に強い姿勢を示したことで、円金利は超長期ゾーンを中心に低下しました。

◆ 種別組入比率[※]およびポートフォリオの状況

種別	ファンド	ベンチマーク		ファンド	ベンチマーク
国債	59.94%	83.86%	平均複利利回り	0.38%	0.27%
地方債	2.07%	6.23%	平均クーポン	0.54%	0.78%
政保債	0.00%	1.72%	平均残存期間	10.39年	10.05年
金融債	0.00%	0.34%	修正デュレーション	9.73年	9.32年
事業債	22.96%	6.04%			
円建外債	2.03%	0.38%			
MBS	4.26%	1.35%			
ABS	0.00%	0.08%			

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、三井住友DSアセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

iFree 外国債券インデックス

【運用会社】 大和アセットマネジメント株式会社

2022年3月31日時点

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

●外国の公社債に投資し、投資成果をFTSE 世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動させることをめざします。
●当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
・マザーファンドは、「外国債券インデックスマザーファンド」です。

■FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	3.29%	-0.34%	1.25%	2.28%	11.67%	22.26%
ベンチマーク	2.73%	-0.53%	0.99%	2.57%	12.48%	22.44%

※「基準価額騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

◆ ファンド概況

基準価額	12,226円
純資産総額	61.10億円
設定日	2016年9月8日
決算日	11月30日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

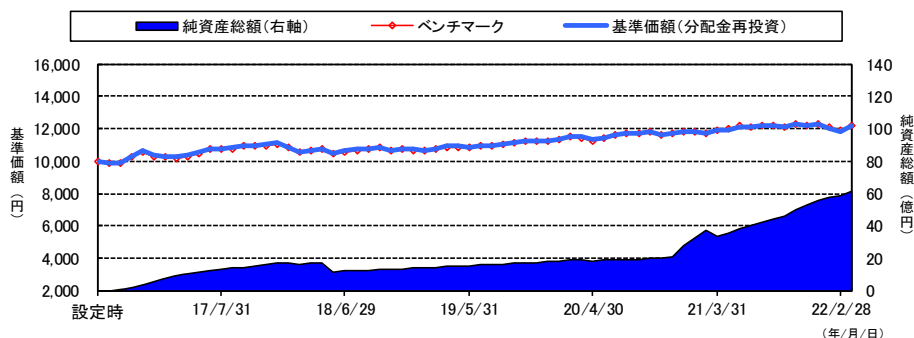
実質債券組入比率	98.56%
うち現物	98.56%
うち先物	0.00%
現預金・その他	1.44%

◆ 主なリスク

公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)、為替変動リスク、ントリー・リスク等

※上記リスクについては、大和アセットマネジメント株式会社の基準に基づき表記しています。

◆ 基準価額推移グラフ



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

※当ファンドはFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。

※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	償還日	比率
1	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2031/02/15	0.50%
2	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2031/08/15	0.48%
3	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2030/08/15	0.45%
4	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2030/11/15	0.45%
5	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2031/11/15	0.42%
6	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2031/05/15	0.42%
7	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2023/11/15	0.38%
8	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2026/05/15	0.38%
9	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2024/09/15	0.37%
10	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	2027/10/25	0.36%
組入銘柄数: 886 銘柄		上位10位銘柄合計		4.21%

※ 比率は純資産総額に対するものです。

※ 債券 ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値(直接利回り、最終利回り等)を、その組入比率で加重平均したものです。

◆ 通貨別構成および債券 ポートフォリオ特性値

通貨	比率
米ドル	48.00%
ユーロ	37.96%
英ポンド	5.42%
カナダドル	2.03%
豪ドル	1.62%
オフショア人民元	1.21%
メキシコペソ	0.77%
マレーシアリンギット	0.52%
ポーランドズロチ	0.45%
その他	2.00%
合計	100.00%

	ファンド
最終利回り	1.85%
直接利回り	1.91%
残存年数	9.29年
修正デュレーション	7.57年

・当資料は、大和アセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

GIM FOFs用新興国ソブリン・オープンF(適格機関投資家専用)

【運用会社】 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 J. P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インク

2022年3月31日現在

◆ ファンドの特色

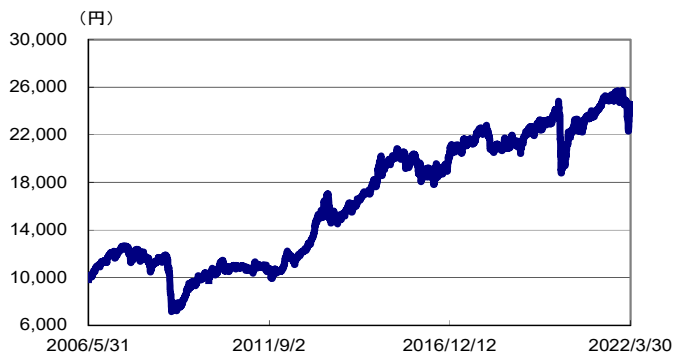
1.GIM新興国ソブリン・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
2.マザーファンドを通じて、主として世界の新興国の政府または政府機関の発行する債券に投資を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	3.99%	-3.69%	-2.39%	2.33%	10.04%	145.65%

*騰落率は、基準価額(信託報酬控除後)に税引前分配金を再投資して計算しております。

◆ 基準価額推移グラフ



上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

基準価額は税引前分配金再投資、信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

(2022年2月28日現在)

順位	銘柄	国	通貨	比率
1	DOMREP 4.875% SEP32 REGS	ドミニカ共和国	米ドル	1.82%
2	S.AFRICA USD 4.3% OCT28	南アフリカ	米ドル	1.60%
3	OMAN USD5.375% MAR27 REGS	オマーン	米ドル	1.21%
4	COLOMBIA USD 5.2% MAY49	コロンビア	米ドル	1.19%
5	PEMEX 6.35%	メキシコ	米ドル	1.14%
6	PEMEX 6.875%	メキシコ	米ドル	1.13%
7	ECUADOR MLT JUL35 REGS	エクアドル	米ドル	0.99%
8	SAUDI ARABIAN 3.5% REGS	サウジアラビア	米ドル	0.98%
9	BIOCEANICO 0% REGS	パラグアイ	米ドル	0.96%
10	TURKEY USD 4.25% APR26	トルコ	米ドル	0.95%
組入全銘柄数:		182 銘柄	上位10銘柄合計	11.97%

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄については、開示基準日以外の情報と異なります。

クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ファンド概況

基準価額	7,192円
純資産総額	1,439百万円
設定日	2006年5月31日
決算日	原則毎月7日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	87.00%
うち現物	93.36%
うち先物	-6.36%
現預金・その他	6.64%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

当月の米ドル建て新興国債券の利回りは、前月末比でほぼ横ばいとなりました。また、新興国スプレッド(米国債との利回り格差)は前月末比で縮小しました。国別のパフォーマンスでは、ウクライナやガーナなどが上昇した一方、タジキスタンやパキスタンなどは下落しました。当月は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を背景に、上旬は下落基調となりました。その後、ロシアとウクライナの停戦交渉が継続していることや、FOMC(米連邦公開市場委員会)後の記者会見でパウエル議長が向こう一年の景気後退リスクを否定したことから、投資家心理が改善する局面もありましたが、月間では下落となりました。当月の当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)は前月末比で上昇しました。保有債券の価格下落などはマイナスに寄与したものの、米ドルが対円で上昇したことなどがプラスに寄与しました。国別では、ナイジェリアやコートジボワールなどの保有比率が上昇した一方、ロシアやメキシコなどの保有比率は低下しました。新興国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻により短期的には不透明感が出ているものの、新型コロナウイルスによる危機から脱し、中長期的には回復基調を今後ともたどると考えます。マクロ経済はリフレーション(緩やかな物価上昇)から、徐々に軟着陸する段階に入りつつあると見ており、長期的な成長過程に移行し、先進国の成長率を上回ると予想します。ウクライナ情勢の不透明感が後退するに当たって、こうした傾向も顕著になると見えています。こうした中、米ドル建て新興国債券についても、概ね良好な経済や比較的高い利回りの点で、引き続き投資魅力が高いと考えます。当ファンドの運用においては、引き続き市場の変動性に十分留意しながら、流動性が高く、財政を含む長期ファンダメンタルズが健全な国の中で、割安と判断する債券への投資を継続する方針です。

*運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含みます。

◆ 組入上位5か国および5通貨^{※2}

国名	比率	通貨	比率
メキシコ	9.94%	米ドル	98.51%
ドミニカ共和国	4.44%	ユーロ	1.49%
ブラジル	4.25%		
インドネシア	4.25%		
パラグアイ	4.07%		

※2 各比率はマザーファンドベースで組入有価証券を100%として計算しています。

なお、クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付	BB
平均デュレーション	7.20年
平均終利	7.62%

平均格付とは、債券資産等に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2022年3月31日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ的方式で運用することを基本とします。
・主として、米国のハイイールド債市場へ投資するファンドと欧州のハイイールド債市場へ投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	4.87%	0.16%	1.30%	4.74%	20.12%	85.77%

◆ ファンド概況

基準価額	18,577円
純資産総額	5百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド	46.95%
Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド	48.76%
現預金等	4.29%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

3月は、ロシアのウクライナ侵攻に未だ解決がみえない中、ウクライナの抵抗の強さや一連のロシア軍の撤退が相まって、東欧の広範な領域で両国の紛争をめぐる懸念はやや緩和されました。とはいえ、食品およびコモディティ価格への影響は引き続き確認され、米国ではインフレ率が加速し続け、3月に発表されたCPI(消費者物価指数)の上昇率は前年同月比で約8%に達しました。これらを受け、FRB(米連邦準備理事会)はまず3月初めに0.25%の利上げに踏み切る意向を明らかにし、その後の会合でさらに0.5%の利上げが必要になる可能性が高いことを示唆しました。このような環境下、当月の米国国債の利回りは上昇(債券価格は下落)し、債券のトータルリターンはマイナスとなりました。米国ハイイールド債のスプレッド(国債との利回り格差)は、ロシアのウクライナ侵攻を背景に大幅に拡大した後、最終的には縮小傾向となり、米国ハイイールド債市場は下落幅を縮小させる動きとなりました。

3月の初頭に、ロシアによるウクライナ侵攻を受け欧米諸国の制裁が強化されたことから、当月はリスク回避の動きが加速しました。紛争の経済的な影響は、エネルギー(原油、ガスなど)および農産物(小麦)価格の急上昇、サプライチェーンの混乱などによる強いインフレ圧力、貿易の減少、消費者・企業の信頼感の低下などに反映されました。これらを受け、主要中央銀行はインフレ抑制措置を講じました。ユーロ圏では高水準のインフレ率を背景に、ECB(欧州中央銀行)は資産購入の縮小ペースの加速を発表し、今秋の利上げの必要性を強調しました。こうした中、国債利回りは大きく上昇しました。一方でクレジットスプレッドは月初こそ拡大したものの、ロシア・ウクライナ間の交渉の進展への期待やポジティブなテクニカル要因を背景に月後半には大きく縮小し、欧州ハイイールド債市場は小幅な下落にとどまりました。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	B
平均最終利回り	4.77%
平均直接利回り	4.08%
修正デュレーション	4.32年

※平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2022年3月31日 現在

投資先ファンド「TCWファンズ-MetWest/ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄	投資国	クーポン	償還日	比率
1	OCCIDENTAL PETROLEUM COR	アメリカ	0.000%	2036/10/10	1.55%
2	MOLINA HEALTHCARE INC	アメリカ	3.875%	2030/11/15	1.50%
3	QWEST CORP	アメリカ	7.250%	2025/9/15	1.18%
4	JBS USA/FOOD/FINANCE	アメリカ	4.375%	2052/2/2	1.12%
5	LEVEL 3 FINANCING INC	アメリカ	3.625%	2029/1/15	1.09%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	BB-
平均最終利回り	5.32%
平均直接利回り	4.83%
修正デュレーション	5.58年
組入全銘柄数	227

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AAA	6.67%	BB	12.44%
AA+	-	BB-	15.03%
AA	0.26%	B+	11.84%
AA-	-	B	10.76%
A+	-	B-	6.92%
A	0.99%	CCC+	5.74%
A-	0.36%	CCC	0.96%
BBB+	1.18%	CCC-	1.79%
BBB	2.10%	CC+以下 および無格付	0.60%
BBB-	13.38%	総計	100.00%
BB+	8.99%		

*現金等については「AAA」としています。

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

投資先ファンド「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国名	比率
1	AMUNDI EURO LIQ SHORT TERM SRI - Z [※]	-	-	その他 [※]	3.63%
2	BFT AUREUS ISR - Z (C) [※]	-	-	その他 [※]	3.38%
3	VMED 4.875% 07/28 REGS	4.875%	2028/7/15	イギリス	1.11%
4	LORCAT 4% 09/27 REGS	4.000%	2027/9/18	スペイン	0.97%
5	EDF VAR PERP EMTN	6.000%	2026/1/29	フランス	0.94%

※投資信託証券です。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	B
平均最終利回り	4.66%
平均直接利回り	3.72%
修正デュレーション	3.50年
組入全銘柄数	278

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AA+	-	BB-	16.22%
AA	-	B+	17.13%
AA-	-	B	15.93%
A+	3.63%	B-	7.07%
A	-	CCC+	4.08%
A-	-	CCC	1.39%
BBB+	3.38%	CCC-	-
BBB	0.72%	CC+以下 および無格付	0.00%
BBB-	1.44%	CASH	3.34%
BB+	13.11%	総計	100.00%
BB	12.57%		

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバルリート(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAグローバルREITファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2022年3月31日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券を主要投資対象とする「CAグローバルREITマザーファンド」の受益証券に主として投資し信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	11.20%	3.94%	16.88%	28.75%	34.86%	117.47%

◆ ファンド概況

基準価額	21,747円
純資産総額	83百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質不動産投資信託証券比率	98.45%
現預金等	1.55%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。

・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

3月の海外REIT市場は上昇しました。月前半は、ロシア・ウクライナ情勢に絡む資源価格の上昇が懸念され下落する場面もありましたが、良好な経済指標などが支えとなり海外REIT市場は上昇しました。月後半は、米国の新規失業保険申請件数が予想を下回ったほか、ロシア側の軍事作戦縮小による停戦期待の高まりなどを受けて海外REIT市場は上昇しました。

日本のREIT市場は、ロシアとウクライナの紛争を受け原油価格の急騰や、FOMC(米連邦公開市場委員会)を控え主要国の長期金利の上昇傾向から、ボックス圏ながら軟調な動きとなりました。まん延防止等重点措置が解除される見通しとなった月後半は、内外株式市場の大幅上昇を好感し買いが優勢になりました。また、日銀が金利上昇を抑制する姿勢を示したことや、円安が進んだことで企業業績改善期待が膨らんだことなどから上昇幅を広げました。

◆ 組入上位10銘柄※

	銘柄	国	通貨	比率
1	PROLOGIS	アメリカ	米ドル	6.69%
2	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	米ドル	4.34%
3	DIGITAL REALTY TRUST	アメリカ	米ドル	3.56%
4	EQUINIX	アメリカ	米ドル	3.16%
5	PUBLIC STORAGE	アメリカ	米ドル	3.15%
6	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	米ドル	3.05%
7	AVALONBAY COMMUNITIES	アメリカ	米ドル	2.72%
8	GAMING & LEISURE PROPERTIES	アメリカ	米ドル	2.39%
9	SEGRO	イギリス	英ポンド	2.38%
10	WELLTOWER	アメリカ	米ドル	1.99%
組入全銘柄数: 130 銘柄		上位10銘柄合計		33.42%

◆ 組入上位5カ国※

国名	比率
アメリカ	64.56%
日本	14.53%
オーストラリア	5.63%
イギリス	4.71%
シンガポール	2.96%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

マネープール(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2022年3月31日 現在

◆ ファンドの特色

・主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うとともにあわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.01%	-0.02%	-0.03%	-0.08%	-0.20%	0.34%

◆ ファンド概況

基準価額	10,034円
純資産総額	641百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

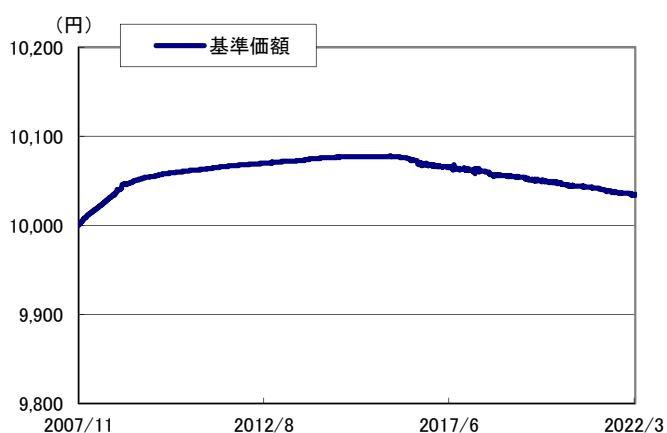
◆ 資産構成比

公社債	70.42%
現預金等	29.58%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入銘柄[※]

	銘柄名	償還日	比率
1	第116回共同発行市場公募地方債	2022/11/25	23.50%
2	平成24年度第13回愛知県公募公債(10)	2022/11/30	15.67%
3	平成24年度第3回広島県公募公債	2022/9/26	15.65%
4	平成24年度第1回兵庫県公募公債	2022/4/13	15.59%
	組入全銘柄数 4 銘柄	合計	70.42%

※ 比率は純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

ご注意いただきたい事柄

<投資リスクについて>

- 変額個人年金保険「スタープレミアム年金」は、特別勘定の運用実績によって積立金額、死亡保険金額、解約払戻金額、および将来の年金額が変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定における資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク等のリスクがあり、運用実績によっては年金額や解約払戻金額等が一時払保険料の合計額を下回り、ご契約者に損失が生じるおそれがあります。これらのリスクはご契約者に帰属しますのでご注意ください。

<お客さまにご負担いただく費用について>

- この商品にかかる費用は、「契約初期費用」「保険関係費用」「運用関係費用」「年金管理費用」の合計となります。また、1保険年度あたり16回以上スイッチング(積立金の移転)を行った場合は、16回目から「特別移転費用」がかかります。

	項目	内容	費用	ご負担いただく時期等
契約時 (増額時)	契約初期費用	ご契約の締結等のために必要な費用です。	一時払保険料 (増額保険料)に対し、 4.5%	特別勘定への繰入時に一時払保険料(増額保険料)より控除します。
積立 期間中	保険関係費用 ^{※1}	死亡保険金の最低保証や、ご契約の維持管理等に必要な費用です。	年率1.01%	特別勘定の積立金額に対して、左記の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	運用関係費用 ^{※2}	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定の投資対象とする投資信託の信託報酬等です。	信託報酬は 年率1.045%程度(税込) 信託報酬については、「特別勘定のしおり」をご確認ください。	各特別勘定が投資対象とする投資信託の純資産総額に対して、所定の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	特別移転費用	スイッチングを行う場合で、1保険年度につき16回目からかかる費用です。	1回あたり 1,000円	1保険年度につき16回目からのスイッチング時に、積立金より控除します。
年金支払 期間中	年金管理費用 ^{※3}	年金のお支払いや管理等に必要な費用です。	支払年金額に対し、 1%	年金支払開始日以後、年1回の年金支払日に控除します。

※1 金融市場型特別勘定を選択した場合、金融市場型特別勘定の運用収益率が年率1.01%未満のときは、保険関係費用は1保険年度180日まで金融市場型特別勘定の運用収益相当額を上限とします。

※2 運用関係費用は、信託報酬に加えて信託事務に関する諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がかかります。これらの費用は、各投資信託の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。各特別勘定の運用関係費用について詳しくは、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

※3 年金原資を一括でお支払いする場合、「年金管理費用」はかかりません。また、「年金管理費用」は、将来変更される可能性があります。

<その他>

- この商品は、クレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする変額個人年金保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。
- 解約・一部解約した場合の解約払戻金額に最低保証はありません。
- 引受保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。

当商品に関する詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要/注意喚起情報>」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】



クレディ・アグリコル生命保険株式会社
〒105-0021
東京都港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル
カスタマーサービスセンター ☎0120-60-1221
Webサイト <https://www.ca-life.jp/>